



令和になって初めてのお正月はいかがでしたか？「お正月」の「正」の字には、ものごとを正しくする、改めなおすという意味があります。気持ちを新たに、今年目標を決めてチャレンジしてみましょう。そして、皆さんに素敵な本との出会いがあることを願っています。



## 今年の子年 ねずみ(子)が登場する本

### 「ね、うし、とら…十二支のはなし 中国民話より」 ドロシー・バン・ウォアコム:文 エロール・ル・カイン:絵

12種類の動物からできている中国のこよみが伝わり、同じように日本のこよみも年ごとに一つの動物の名がついています。その一番を牛も鼠も自分だと譲りません。残りの10匹の動物に聞きますが、それでも決まりません。そこで、町の人々に聞いてみることにするのですが……。知患者の鼠が一番になる方法を考えました。

### 「時計ネズミの謎」 ピーター・ティッキンソン:作

町の有名な大時計が、99年目を迎え、止まってしまいました。修理を依頼された老技師が時計のからくり人形のふたを開けてみると、普通とはちょっと違ったネズミが住んでいました。彼らはかしこいテレパシーネズミだったのです。時計は再び動き出すのか？ネズミたちはどうなる？

### 「ゾウの時間ネズミの時間」 本川達雄:著

さまざまな大きさの動物は、時間のとらえ方がそれぞれ違うのだとわかります。例えば心臓が1回ドキンと打つのに、人間は1秒、ネズミは0.2秒、猫は0.3秒、馬は2秒、ゾウだと3秒かかります。また、同じ高さからネズミとゾウを落とすと同時に地面に着きますが、その間にネズミは「落ちる、落ちる、どうしよう」と考えるほど長く感じ、ゾウは「あれ？」と考える間もなく落ちてしまうのです。サイズと時間の関係って面白い。



### 坪田譲治 生誕130年

小川未明・浜田広介とともに児童文学界の三種の神器と評され、多くの作品を残した児童文学者。

『サバクの虹』『ニジとカニ』『かっぱのふん』他。

### 『風の中の子供』 坪田譲治:著

三平には優秀な兄がいました。一方、三平の出来はあまり良くありません。しかし、父は問題ないとかわいがって来ていました。ある日父は、突然無実の罪で逮捕され、三平は叔父に引き取られることになります。そして、事態は思わぬ方向に進みます。

### クイズ ネズミ知識

- ① 日本には何種類のネズミが生息しているでしょう？  
A.約20種 B.約40種
- ② 江戸時代から人気のペットだったネズミは？  
A.アカネズミ B.ハツカネズミ
- ③ 配管や電線などを伝って、高層ビルにも住みつくネズミは？  
A.ドブネズミ B.クマネズミ
- ④ 野外に球形の巣を作る日本最小のネズミは？  
A.カヤネズミ B.ハタネズミ

答えは図書室前の廊下にあります。



この本、読んでみませんか？ (元図書委員 夕菜さんおすすめ)

### 『オーダーは探偵に』 近江泉美:著

主人公の小野寺美久は、就活に疲れ果てている大学生。ある日、ひょんなことから喫茶店『エルメス』で上倉悠貴と出会います。悠貴は美久より年下の男子高校生ですが、口が悪く、しかもどんな事件でも解決してしまう探偵だったのです。そんな悠貴とコンビを組むことになった美久。はたして二人は、無事に事件を解決できるのでしょうか？ぜひ名(迷)コンビの活躍を読んでみてください。